

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 「 市民健康診断事業（自己負担1コイン化含む） 」

教育福祉委員会

	H26年度予算額	(参考) H25年度決算額見込み	(参考) H24年度決算額
事業費	507,621,000円	497,444,932円	430,717,116円

事業評価チェック表

PLAN	・事業の概要	各種がん検診やヘルスチェック、骨密度検診等の実施。						
	・ねらい	若いうちから自分の健康状態を的確に知り、個人の健康状態を喚起する。さらに、各種がんの早期発見、早期治療を心がけることにより、健康で地域でいきいきと活動し、結果、病気の重症化によってかかる医療費の削減を図る。						
DO	・予算	H25年度当初予算額 463,775,000円						
	・事業実績	各種けんしんの受診者数及び受診率について（24年度実績/25年度実績）						
CHECK	必要性 (市民ニーズ)	評価項目	評価基準（概要欄の○）	評価点	評価コメント			
		必要性が高い（20点）		15		・早期発見・治療につながり、結果として治療費の抑制につながる。 ・企業等の他の機関でも実施している。		
		必要性が高い（15点）	○					
		どちらかと言えば必要性がある（10点）						
		必要性が低い（5点）						
	必要性がない（0点）							
	公共性 (市で行わなければならないか)	公共性が高い（20点）		15	・本来は国に任せたいが、現実的に市が実施しなければならない状況。 ・1コイン化という行政サービスは太田市ならでのこと。 ・自分の体は自分で守るという意識が必要。			
		公共性が高い（15点）	○					
		どちらかと言えば市が実施（10点）						
		公共性が低い（5点）						
公共性がない（0点）								
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である（20点）		20	・がん検診受診により早期発見・治療につながっている。 ・医療費抑制に大きな役割を果たしているが、実際の削減効果について具体的な数値が挙げられない。 ・受診率を伸ばす必要がある。				
	効果的である（15点）	○						
	どちらかと言えば効果的（10点）							
	どちらかと言えば非効果的（5点）							
	非効果的である（0点）							
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い（20点）		15	・予防治療として非常に重要。 ・命にかかわるため優先性は高いが、救急等の緊急性の高い救命が最優先。				
	優先性が高い（15点）	○						
	どちらかと言えば優先性がある（10点）							
	優先性が低い（5点）							
	優先性がない（0点）							
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている（20点）		15	・精密検査等でがん発見数が多く評価できる。 ・受診率をもっと伸ばす努力が必要。				
	成果があがっている（15点）	○						
	どちらかと言えばあがっている（10点）							
	どちらかと言えばあがっていない（5点）							
	成果はあがっていない（0点）							
ACTION	評価	総合評価基準		計	80/100	課題		
		5	きわめて良好である	80点以上	○		5	・受診率向上のための更なる制度周知、制度についての啓蒙啓発。 ・受診結果に対する追跡調査の実施。 ・近隣自治体医療機関での相互受診。 ・子育て世代が受けやすい受診環境の整備。 ・受診による医療費抑制を数値化したPR。
		4	適正である	60～79点				
		3	おおむね適正である	40～59点				
		2	問題がある	20～39点				
		1	不適正である	19点以下				

決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価（概要欄の○）	評価	決定理由	
	5 「拡充する」	○		市民の健康維持・管理に大きく貢献している健康診断事業（1コイン化）として、より一層の事業の拡充を望む。拡充の過程において、新たなけんしん項目の検討、市民の受診意識向上のための取り組み及び受診しやすい環境の整備を期待したい。
	4 「現状のまま継続する」			
	3 「改善・効率化し継続する」			
	2 「見直しのうえ縮小する」			
1 「不適正である」				

事業名称	議会評価		特定理由（今後の事業展開）
	総合評価	今後の方向性	
市民健康診断事業 (自己負担1コイン化含む)	5	5	早期発見・治療により医療費抑制につながっている。今後においては、けんしん項目の拡充、受診率向上のための取り組みを期待したい。